

令和7年度第1回南会津町地域公共交通会議 会議録

I. 日時 令和7年6月27日（金）午後1時30分から午後2時25分

II. 場所 南会津町役場 本庁舎3階 正庁

III. 次第

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
- 3 協 議
 - (1) 令和6年度事業報告について
 - (2) 令和6年度歳入歳出決算報告について
 - (3) 令和7年度事業計画（案）について
 - (4) 令和7年度歳入歳出予算（案）について
 - (5) 令和8年度地域公共交通計画（地域内フィーダー系統）認定申請（案）について
 - (6) 南会津町地域公共交通計画の一部改訂について
 - (7) その他
- 4 閉 会

IV. 出席者（委員18人中13人出席）

区 分	団体・機関等	職 名	氏 名	出欠
(1)町長が指名する 役職員	南会津町	副町長	二瓶 勝俊	出
(2)一般旅客自動車 運送事業者の代 表	一般乗合代表 会津乗合自動車株式会社	乗合バス部長 （バス事業本部長）	小澤 睦 （津田 弘幸）	出 （代理）
	一般乗用代表 南会津町事業者代表 田島タクシー有限会社	代表取締役	馬場 丈晴	欠
	一般貸切代表 会津交通株式会社	代表取締役 （田島営業所 所長）	吉田 正寿 （大竹 康樹）	出 （代理）
(3)一般旅客自動車 運送事業者の組 織する団体の代 表	一般乗合自動車運送事業者の 組織する団体の代表 公益社団法人福島県バス協会	専務理事	宍戸 紳一郎	欠
	一般乗用旅客自動車運送事業 者の組織する団体の代表 一般社団法人福島県タクシー 協会会津支部	支部長	佐藤 俊材	欠
(4)住民又は利用者 の代表	高齢者代表	田島地区老人クラブ 連絡協議会副会長	児山 求	出
	婦人代表	南会津町商工会女性部 舘岩支部支部長	齋藤 美希	出
	青年代表	南郷青年会事務局長	五十嵐 太介	出

	児童生徒保護者代表	田島小学校PTA会長	平山 磨	出
(5)東北運輸局長若しくは福島運輸支局長又はその指名する者	国土交通省東北運輸局 福島運輸支局	首席運輸企画専門官	日脇 渚彩	出
(6)一般旅客自動車運送事業者の事業用自動車の運転者が組織する団体の代表	一般乗合旅客自動車運送事業者に係る団体の代表 会津乗合自動車株式会社 労働組合	書記長	関根 誠	欠
	一般乗用旅客自動車運送事業者に係る団体の代表 福島県ハイヤータクシー労働組合会津支部	組合員	浅井 角栄	欠
(7)道路管理者、福島県警察、学識経験者その他の交通会議が必要と認める者	福島県南会津地方振興局	県民環境部副部長 兼県民環境課長	渡部 洋一郎	出
	南会津警察署	地域交通課長	武藤 稔記	出
	南会津建設事務所	企画管理部長	大和田 智彦	出
	南会津町社会福祉協議会	会長	渡部 仁	出
	会津鉄道株式会社	駅事業部部長 会津田島駅長	湯田 仁	出

【事務局】南会津町総合政策課長：星良栄 地域振興係長：舟木浩隆 地域振興係主査：長沼有紀

V. 会議

1 開会

地域振興係長より開会宣言

- ・本日の出席委員につきましては、委員総数 18 名の内 13 名に出席いただいております。南会津町地域公共交通会議設置要綱第 5 条第 2 項に定める半数以上の出席の要件を満たしておりますので、本会議は成立することを報告させていただきます。
- ・会議に先立ちまして、会長並びに事務局職員をご紹介させていただきたいと思います。当会議の会長を務める南会津町副町長の二瓶勝俊、南会津町総合政策課長の星良栄、地域振興係長の舟木浩隆、今年度から担当になります地域振興係の長沼有紀です。よろしくお願いいたします。

2 会長あいさつ

二瓶勝俊会長よりあいさつ

- ・皆さんこんにちは。改めまして、南会津町副町長の二瓶勝俊でございます。
皆様にはお忙しいところ、また遠方より、ご出席いただきまして誠にありがとうございます。本日の会議の開催にあたりまして、一言ご挨拶を申し上げます。
本町におきましては、令和 5 年度に南会津町地域公共交通計画を策定しまして、町民の皆様にとってより利用しやすい公共交通の運行を目指しています。
そのような中で、昨年度においては、路線バス檜枝岐線と山口・内川線が 10 月に統合され、会津田島駅から山口・内川を経由して檜枝岐村へ乗り入れるという新たな檜枝岐線として運行が開始されました。この統合により、会津高原尾瀬口駅から舘岩地域へ乗り入れていた旧檜枝岐線が運行されなくなったことから、それをカバーするため、舘岩田島地域間のデマンドタクシーの増便などにより、観

光客や住民のニーズに対応してきました。また、伊南地域においては、小売店の廃業や診療所の閉院が相次いだことから、自家用有償旅客運送を開始しまして、地域住民の移動手段を支えてきました。このように、昨年度の町内の公共交通は、統合や再編など大きく運行体系が変化してきましたが、一方で、人口減少が進む中、今後、公共交通の利用者数も例年減少していくことが予想されます。町民の移動手段の確保はもちろんですが、今後も安定的に公共交通を維持していくためには、町外から訪れる観光客にも目を向けた取組みが求められると感じているところでございます。

さて、本日の会議ですが、令和6年度の事業報告、歳入歳出決算、そして令和7年度の事業計画案、歳入歳出予算案、それに加えて、地域間幹線系統バス路線と接続するという役割を担う、各地域デマンド交通の令和8年度計画の認定申請案、そして南会津町地域公共交通計画の一部改定、こういったものを議題としております。

詳しい内容につきましては後程事務局より説明がありますので、委員の皆様には、それぞれの立場から意見をいただきたいと思いますと思っております。

結びになりますが、今年度も本日の会議を含めまして、2回程度の会議の開催を予定しております。委員の皆様には、公私ともにお忙しいと思いますが、次回以降もご出席いただきますようお願い申し上げます。簡単ではございますが、挨拶とさせていただきます。本日はよろしくお願いいたします。

3 協議

(1) 令和6年度事業報告について

(2) 令和6年度歳入歳出決算報告について

○資料1・2頁について事務局（長沼）から説明

- ・令和6年度に実施した会議内容（会議を3回、書面協議を1回）、令和6年度の歳入歳出決算の雑入（貯金利息のみ）となった理由などについて説明。
- ・監査である南郷青年会事務局長の五十嵐太介委員から監査報告。

○質疑・意見等

- ・特になし

《協議事項（1）及び（2）について原案のとおり承認》

(3) 令和7年度事業計画（案）について

(4) 令和7年度歳入歳出予算（案）について

○資料3・4頁について事務局（長沼）から説明

- ・令和7年度に実施予定の会議（2回程度）、国庫補助金や前年度繰越金などの収支について説明。

○質疑・意見等

- ・特になし

《協議事項（3）及び（4）について原案のとおり承認》

(5) 令和8年度地域公共交通計画（地域内フィーダー系統）認定申請（案）について

○資料5～15頁について事務局（長沼）から説明

- ・令和7年10月1日～令和8年9月30日までの各地域デマンドタクシー運行計画についての説明。
- ※資料7頁の「5. 地域公共交通確保維持事業に要する費用の総額、負担者及びその負担額」の記載に誤りがあったため、「南会津町と運行事業者との委託契約により、運行実績に基づき委託料を支払う。なお、国庫補助金は委託料の財源として充当される。」と訂正。

○質疑・意見等

南会津町社会福祉協議会会長 渡部仁委員

- ・資料 15 頁表 5 の人口集中地区以外、交通不便地域等の 14,451 人という数字はどこから出た数字ですか。

事務局（地域振興係長）

- ・記載要領のとおり、最新の国勢調査結果ということで令和 2 年度の国勢調査の結果から 14,451 人となっております。今年の令和 7 年度に国勢調査がありまして、その結果は令和 8 年の 6 月ごろ確定するので、現段階では 5 年前の令和 2 年度の数値で記載しています。
交通不便地域等についてですが、南会津町は過疎地域として支援を受けているので、町全体が交通不便地域の位置付けで記載しているということでご理解いただきたいと思います。
《協議事項（5）について原案のとおり承認》

（6）南会津町地域公共交通計画の一部改訂について

○資料 16 頁について事務局（長沼）から説明

- ・会津鉄道及び野岩鉄道における次期経営健全化に関する計画の策定に伴った数値目標の変更について説明。

○質疑・意見等

南会津町商工会女性部館岩支部支部長 齋藤美希委員

- ・会津バスが館岩地域を通らなくなってから、配慮いただいて土日祝日等もデマンドタクシーの運行が始まり、観光客もそれを利用しているという話をよく聞きます。目標もかなり高く設定されていますが、この目標が達成されなかった場合、規模を縮小するなど、どのような展開になっていくのかお聞きしたいです。

事務局（地域振興係長）

- ・お話があった通り、少子高齢化によりデマンドタクシーの利用者数はおそらく減っていくだろうと想定しています。利用がなければ、そもそも事業も成り立たなくなってしまうので、今後は外から来る方に視線を向けていかなければならないと考えていますので、そういった方々にとって利用しやすいような仕組みや運行形態を考えながら、持続可能な公共交通の構築を検討していきたいと思っています。
さらに数字に関しては、我々も全体的な見直しが必要であると考えています。例えば、コロナのときのように利用者数が大幅に減った場合、それも数値として見直しが必要になってくるのではないかと思います。その辺も含めて、計画の目標値が達成できないというような状況が訪れたときは、その都度事務局の方で、現状に合うような目標値の設定に見直しをしていきたいと思っています。

南会津町社会福祉協議会会長 渡部仁委員

- ・デマンド交通は、観光客にとって地元の人しか使えないみたいな利用しづらいイメージがあるのでそういった観光客向けにどのような宣伝や PR をしているのか教えてください。

事務局（総合政策課長）

- ・今現在、観光客目線での PR というのは館岩地域でやっております。（7）その他でも説明させていただきますが、町外の人が利用するには、スマホで予約するような仕組みが今後必要になってくると考えています。そういった予約システムを導入するにあたって、必要性やその効果などを分析するために、今年度ニーズ調査を実施する予定になっています。それらを導入した場合、どのような PR をしていくかというのも重要になってきますので、そのことも含めて本年度調査を実施し、早ければ来年度以降に実証運行を実施できればと考えています。

福島県南会津地方振興局 渡部洋一郎委員

- ・南会津町を訪れる観光客の数について、大体の傾向として増えているのか減っているのか教えてください。

事務局（総合政策課長）

- ・担当課が違うので、今手元に資料がなくお答えできないのですが、コロナの時期もあったので、そのと

きに比べれば増えていると思います。特にスキー場は雪に恵まれたということもあり、本年度はかなり入れ込みが多かったと聞いています。

《協議事項（６）について原案のとおり承認》

（７）その他

①次回開催の会議について

②「令和７年度南会津町地域公共交通サービス利便性調査業務」の実施について

４ 閉会

～協議終了～

*詳しい説明内容等については別添資料のとおりです。

以上